

# 災害関連死ゼロの 社会を目指す

<13>

◆大雨や台風に備えて  
台風や前線の影響で、  
大雨や洪水、暴風などに  
よる自然災害が発生しや  
すい季節となりました。  
そこで今回は早めの避難  
などの防災行動について  
述べていきます。

◆早めの防災行動  
災害から命を守るため  
には、国や都道府県が行  
う対策などの「公助」だ  
けでなく、私たちの備え  
いわゆる「自助」で災害に  
対する備えをしておく、  
危険を感じたら早めに避  
難するなど、自らの命を

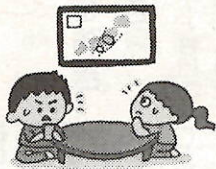
守るための防災行動を起  
こすことが重要となりま  
す。  
まず市区町村は、警報  
などを受けて、ハザード  
マップなどに基づき危険  
な区域の住民に対して、  
避難準備・高齢者等避難  
開始、避難勧告、避難指  
示(緊急)の発令を検討  
します。また、気象庁で  
は、警報や注意報に先立  
ち、「警報級の可能性」  
や大雨や台風に関する防  
災気象情報を随時提供し  
ています。

◆非常持ち出し品  
ここでは非常持ち出し  
品の一例を挙げておきま  
すので、リュックサック  
にまとめて、すぐに持ち  
出せるようにしておきま  
しょう。  
◎飲料水や食料品など  
(特に乳児がいる場合、  
粉ミルクや哺乳瓶等)  
◎医薬品など(特に乳児  
のいる場合、紙おむつ  
等)  
◎貴重品(健康保険証、  
身分証明書等)、お金  
◎衣類(寝袋や雨具等)

を追って段階的に発表さ  
れる「注意報」、「警報」、  
「土砂災害警戒情報」や  
「危険度分布」を活用し  
て、早めの防災行動をと  
るようによみましょう。

◎ナイフ、缶切り、水筒、  
懐中電灯、ラジオ、電  
池、ロープ、マッチや  
ライター、ティッシュ、  
筆記用具など日用品  
◎その他(防災ずきんや  
ヘルメット、予備の眼  
鏡、地図等)

◆身の安全第一  
警報や注意報が発表さ  
れているときや悪天候の  
ときは、外出は控え、外  
出している人は、天気が  
荒れる前に、早めに帰宅  
するようによみましょう。  
また、高齢者や子ども  
いる家庭など、避難の時  
間を要する家庭では早め  
に避難することが重要に  
なるため、避難勧告・避  
難指示があったときは、  
安全なルートで避難場所  
にすぐに避難する必要が  
あります。まずは身の安  
全が第一と考え、素早く  
行動をとる必要があるこ  
とを考えておきましょう。



- ・災害関連死ゼロフォーラム  
<http://zero-forum.jp/>
- ・一般社団法人地域防災支援  
協会  
<http://www.boushikyo.jp>
- ・一般社団法人日本環境保健  
機構  
<http://jeho.or.jp>

●令和2年  
間「実施」回  
期間10月1

脳と夫人

